



広報 あくな

第393号

住民基本台帳人口と世帯数		(9月1日 現在)
人口	30,377	(+4)
男	14,147	(-8)
女	16,230	(+12)
世帯数	9,461	(-9)
		() 内は前月比

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
 昭和54年10月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行1部10円



秋たけなわ

秋とは「食べものがあまるほどある」の意味があります。

スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、いろんな秋にめぐりあいます。

市内各地では、スポーツの秋

たけなわで、運動会など終日にきわみをみせています。

笠山では観光農園のくり狩りがオーブン、味覚の秋を楽しむ家族連れがドットと押し寄せました。

10月号

第3回定例市議会

補正予算などを議決

災害復旧に六千七百万円投入

第三回定例市議会は、九月十九日から二十八日まで十日間の日程で開かれ、承認一件、認定一件、同意五件、議案十六件を審議し、認定一件が継続審査になったほかは、それぞれ原案どおり可決されました。

この中で、一般会計の補正予算として三億二千五百三十六万六千四百円を追加、予算総額を五十七億二千四百三十万円でしました。

承認一件は、専決処分の承認について（昭和五十四年度阿久根市一般会計補正予算「第三号」で、原案どおり承認されました。

認定一件は、昭和五十三年度阿久根市水道事業の決算の認定で、建設委員会付託のうえ継続審査となりました。

同意五件は、十二月一日で任期満了となる人権擁護委員に飯田義久氏を再推せん。十月十三日で任期満了となる公平委員に山下肇氏を再選任。任期満了となった、監査委員中野矢四郎氏の後任に黒神嘉樹氏を選任。九月三十日で任期満了となる教育委員田島伊利氏の後任に若松豊三氏を任命。九月十日で任期満了となる固定資産評価審査委員山口孝志氏の後任として鳥飼源行氏を選任したものです。

議案十六件は、阿久根市交通安全

全対策会議条例の一部を改正する条例や阿久根市工業開発促進条例の一部を改正する条例などのほか一般会計の補正予算などでした。

交通安全対策会議条例の一部を改正する条例は、租税特別措置法施行令の一部改正に伴い、固定資産の課税免除を受けることができる者の固定資産の取得価格、従来「七百万円を超えるもの」を「八百万円を超えるもの」に改定したものです。

阿久根市工業開発促進条例の一部を改正する条例は、租税特別措置法施行令の一部改正に伴い、固定資産の課税免除を受けることができる者の固定資産の取得価格、従来「七百万円を超えるもの」を「八百万円を超えるもの」に改定したものです。

主な補正予算

児童福祉事業では、国際児童年記念行事として、戸柱公園に児童遊具施設事業（フイルドアスレチック）を計画、遊具施設九か所が予定されています。

農林水産業では、農村振興運動集合集荷施設設置事業及び、農村振興運動キウイフルーツ樹設置事業に対し、事業費の五割を補助、

第二次農業構造改善事業農産物加工施設設置事業に事業費の五割補助のほか、農道舗装受託工事追加分などが予算措置されています。

水産業関係では、水産物産地流通加工センター形成補足整備事業（卸売場設置）に対し六割補助を計上しています。

土木事業では吉野道橋新設工事のほか、都市計画による都市下水路の実施設設計及び現況測量などの予算措置をしています。

災害復旧関係では、土木施設災害復旧工事として、尻無本線道路ほか二十件、河川、飛松川ほか二件が、また、農業施設災害復旧工事については、中津浜地区農道災害復旧工事ほか三十件が予算措置されています。

並型魚礁を設置

倉津沖に

沿岸漁場整備開発事業では、並型魚礁設置を事業費五百四十万円で、倉津沖二〇〇〇口の地点に百五十箇投入、十月末には投入完了の予定。

また、沿岸漁場整備奨励事業では、事業費百万円で、タイヤ魚礁五十二組を臨本番所岸沖合一〇〇〇口に投入を完了しました。

病害と室など完成

食肉センター

食肉センターでは、病害と室、原皮置場などの附属建物五棟、一五七・五平方メートルを工事費四百四万円で七月着工し、八月末完成。

キュービクル受電盤移転工事百十六万円で九月十日着工し、九月末完成。

また獣畜搬入路舗装工事の二百五万円は八月着工し、十月には完成の予定。

10月は秋季農作業安全月間

いよいよ本格的な秋の農作業シーズンを迎えました。この時期はひんばんな農業機械の使用に伴い農作業事故が多発しています。

そこで県では、十月を「秋季農作業安全月間」と定め農業機械や施設などの安全利用と有効利用の啓発運動を展開します。

農作業事故は、機械自体の安全配慮の不備のほか、従事者の高齢婦女子化や安易な農業機械の取扱いのため減らず、五十三年度における事故発生件数は百六件となっています（農協農業機械災害共助制度実績三十日以上休業・後遺症）安全な農作業を行なうため、次のことを守りましょう。

- 作業前に機械の点検整備を確実に。点検整備はエンジンを止めて行う。
 - 使用前に取扱説明書をよく読み、注意事項を守る。
 - タオル・前かけ・手袋・裾広ズボンなど回転部に巻き込まれやすい服装は避ける。
 - だるう運転はやめ、確実な運転操作を行う。走行型の機械は道路交通法を守る。
- なお、災害付生命共済や労働者災害補償保険特別加入制度もご利用ください。

危険校舎改築に着手

—尾崎小と阿久根中—

阿久根中学校と尾崎小学校は、最近建設された校舎を除き、それぞれ、昭和二十五年と昭和二年に建設されたもので、老朽化がひどく、危険校舎として改築を迫られていました。

阿久根中学校と尾崎小学校の危険校舎改築工事は、阿久根中学校が六千九百六十万円、尾崎小学校が七千七百九十万円、それぞれ九月に着工し、来年三月十日までに完成の予定です。

その他、大川小学校屋内運動場補修工事、阿久根中学校校舎修繕工事、三笠中学校屋内運動場修繕工事を、それぞれ七月着工、八月に完成しています。

牛之浜・佐湯漁港の局部改良

牛之浜漁港と佐湯漁港の局部改良事業では、牛之浜漁港の北防波堤を一〇・五メートル、南防波堤を二二メートル、工事費千八百四十一万円、佐湯漁港は、防波堤一九メートル、工事費千七百五十八万円、いずれも八月五日着工し、来年三月には完成の予定です。

交通安全指導車を配備

「子供と老人を交通事故から守ろう」をスローガンに、秋の交通安全運動が実施されましたが、市では、この運動に合せ、交通安全指導車Ⅱ写真Ⅱを購入、カギの交付式を行いました。

この車は交通安全普及事業で、県の補助金を利用し、購入したもので、車種はライトバン。車の屋根には二基のマイクを備えています。

九月二十日、市役所玄関前で、川畑市長から「市民の生命を守るため、十二分に活用してください」と尾尾信義交通安全専門指導員にカギが渡されました。

市では、市内の老人クラブや、小・中学校、保育園に向いて、模様の道路標識、信号機、映画で交通安全を指導します。今回交通安全指導車が配備されたことにより、市内の交通安全指導や啓もう活動に威力が発揮されるものと期待されています。



ワセ温州を初出荷

九月九日、阿久根市農協では、ワセ温州ミカンの本格的な出荷が始まり、市内各地から四ノ倉を搬入東京市場へ送られました。

同農協管内の温州ミカン栽培面積はワセ、普通合わせて百畝で、このうちワセが六十畝、ことしは「着果量はやや少ないが、天候に恵まれ、玉の伸びも順調」で、ワセだけで約八百五十トンの出荷が見込まれ、総販売額は一億円を突破するものと期待されています。



選別されるワセ温州みかん

し尿浄化槽の検査が義務づけられます
昭和55年1月1日から

水洗トイレを設置する際に必要な「し尿浄化槽」は、バクテリアの働きで汚物を浄化する仕組みになっています。バクテリアは生き物で、浄化槽の電源を切ったり維持管理や清掃を怠ると、浄化能力がなくなり、ただし尿溜めになってしまいます。

このため国は、昭和五十五年一月一日から浄化槽を設置している人に、年一回検査を受けるよう義務づけることにしました。

これにより、水洗トイレの設置者は、浄化槽の機能や設置届受付済書、その他書類の保管状況などについて、厚生大臣が指定する機関の検査員による検査（有料）を受けなければならなくなりました。

また皆さんが水洗トイレを使用して快適な生活を送る反面、悪臭や水の汚濁によって周囲の方に迷惑をかけることのないよう、ふだんから心がけることも大切です。マ浄化槽についての相談、お問い合わせは市保険衛生課へどうぞ。

安全運転の確保と

シートベルト着用を



国際児童年1979

国際児童年

丈夫な頭のよい子に育てよう

10月は食生活改善普及運動月間



わたしたちが毎日三回とる食事は、健康な生活を築く源です。

食生活——どのようなとき、どのような食事を、どのようにして食べるか、その心がけによってわたしたちの健康は大きく左右されるといってよいでしょう。

とくに、体の発育がおう盛な子供たちの食生活は、立派な体格、丈夫な体質をつくり、正しい食習慣を身につけさせる上で、重要な意味をもっています。

十月は「食生活改善普及運動月間」です。今年の重点目標は国際児童年にちなんで、次の三つがあげられています。

▽偏食をしない丈夫な子に育てよう

▽子供のうちから薄味になれさせよう

▽子供のおやつを見直す

丈夫な、頭のよい子に育てるために、子供たちの食生活について、あらためて考えてみましょう。

おやつの上手な与え方

子供は発育がおう盛で運動量もおとなに比べて断然多いのですが、半面体が小さく胃の働きも弱いので、三度の食事だけではどうしても必要な栄養素を摂取することができません。

そこで、これを補うため、おやつが必要で、子供にとっては食事の一部なのです。

しかし、おやつの回数が多すぎると、食事のときに空腹感がなく、偏食やムラ食いの原因となります。一日に一〜二回時間を決めて与えましょう

おやつは適当に量があつて、しかも消化がよく、水分の多いもの（または水分をいっしょにとる）

で、たんぱく質やビタミン、ミネラルなど発育に必要な栄養素を含んだものが、よいおやつといえます。

誕生 おめでとう

出生児	保護者	区名
山下 真司	道郎	上野
猿楽 真紀	秀人	大丸
山田 聡	社二郎	一段
富永 秀二	勉	一段
新町 良広	良幸	一段
飛松 由樹	一美	高の口
谷川 正博	静雄	一段
猿楽 瑞恵	千吉	佐淵
佐藤 由香里	港	佐淵
龜川 真紀	豊盛	一段
西園 操	健一	一段
小山田理絵	茂	波留
東 幸子	信子	上野
榊 麻紀	重俊	本町
猿楽 美幸	幸仁	一段
牟田美枝子	三千年	折口東
迫田 香織	博	大尾
大曲 裕作	清隆	寺山
田中 信幸	和男	新町
栗林 譲二	健治	山下馬場
長谷川友希	勉	上野
平蔵 繁樹	茂	永田上
久保 早苗	一文	永田上
倉田其一郎	利行	一段
高口 愛母	宗三	高の口
京田 和恵	良一	瀬之上
黒川 綾子	健二	上原
平瀬 修治	悦男	吉里
松本 恵子	博	梅の東
大川内 拓	良一	下村

三反田さんらを表彰

第四回老人福祉大会

「地域社会との交流をはかり、明るい生きがいのある老後をつくらう」を大会スローガンに第四回老人福祉大会は、九月一日老人福祉センターで開かれました。

会場には市内各地区の老人クラブ員三百五十人が参加、過去五年以上会長として優秀な方や、活発な活動を行っている老人クラブ及び老人クラブ発展の協力者を表彰しました。そのあと、各地区の老人クラブなどから、踊りや歌などが披露され、お年寄りの方々は楽しい一日を過ごされました。

大会は、谷口静蔵・市老人クラブ連合会長が「みなさんの努力で

老人クラブの質の向上と会員相互の連帯がはかられています。今後

もこれを維持し、さらに、健康に留意され、自からも生きがいを見出し「いよいよ」といさつ。

引き続き表彰式に入り、次の方々を表彰しました。

- 単位老人クラブ表彰
三反田清次郎、倉津太助、宇都新太郎
- 優秀老人クラブ表彰
桐野、齋田、段、米次、尾崎、中屋敷の各老人クラブ
- 老人クラブ発展の協力者表彰
会員外 江良スヤ

会員 筒田隆、田中ヨシエ

婦人ガン検診は来月

申込者は全員検診を

けるよう心

婦人ガンの集団検診は十一月六日から九日まで四日間の日程で、市内三会場で行われることになっていきます。このため市では、区長さんにお願ひし、婦人が

での死亡原因の一位はガンとなつていきます。ガンは検診による早期発見が大切です。大切な生命をガンから守るために、一人でも多くが検診を受けるよう心掛けていただきます。婦人ガンの検診申し込みをされたかたには、検診日などを通知しますので、もれなく検診を受けてください。

特に三十五歳から五十九歳ま



あいさつを述べる谷口会長

表彰に続き折原謙、峯教育長らが「お年寄りの生きがいは、健康なくしてはありませぬ。今後健康に留意され、後輩の指導者として、いつまでも長生きしてください」と激励したあと、木戸孝先生による「高齢者の生きがいについて」の記念講演があり、演芸大会で幕を閉じました。

保存食を発表

城山グループ

— 松元さん —

第八回出水郡生活改善講習会は九月六日、阿久根市体育館で開催され、約四百人が出席して聞かれました。阿久根・出水農業改良普及所管内の三十九のグループ員が、一堂に集い、互いに農家の経営向上や食生活の改善についての工夫、研究の成果を発表しました。生産物利用の研究では、我家の保存食（市内山下城山グループ、

（松元ナヨさん）、蒸しものの工夫（東町さくらグループ）、野菜ポテトの作り方（長島町むきつグループ）などを発表。物資の有効利用の研究では、饅果、バサミの工夫、（出水市前田構改グループ）、竹利用の物干し（高尾野町こじまグループ）、肥料ふり器（野田町久富木グループ）などが発表され、いずれも省エネルギー時代を反映したものでした。参加者は、お互いの活動の成果を交換しあうと同時に、熱心にメモをとるなど、意欲がみられました。

ご冥福を
お祈りします

- 八郷 強 0 (高の口) 秀二
- 桑原 ナツキ 84 (下) 桑 春雄
- 大下 ヨシ子 55 (大丸) 由信
- 波留 弘次 58 (波留) ふみ
- 中野 善吉 73 (仲仁田) ナミ
- 川畑 ヨシ子 65 (的場) 乃一
- 伊 ハツエ 82 (弓木野) 小市
- 新町 光雄 76 (新町) ソメ
- 鳥飼 重明 86 (永田下) 源實
- 濱崎 榮 81 (浜) 榮 喜
- 川畑 益裕 47 (川畑) サチエ
- 神之田 武次 69 (中屋敷) シツエ
- 春田 與市 81 (大尾) モリエ
- 牛之濱 タシ 71 (牛之浜) トモミ
- 石坂 クニ 82 (下村) 幸雄
- 松崎 重義 69 (天瀬川) 玉江

全国防犯運動

十月十一日から

二十日まで

秋の行楽シーズンは、一方で空き巣などの横行する季節です。家族そろって運動会やハイキングに出かけたそのスキに、あるいは近くの店まで買い物に出たほんのわずかな留守の間に空き巣ねらいは「ひと仕事」すませることが多いのです。「両隣互いにかけてあう声とかぎ」を合言葉に、隣近所が協力して空き巣ねらいによる被害をなくしましょう。

小さな親切運動で表彰

国立療養所阿久根病院 看護会など3団体



表彰を受ける森山婦長と看護婦さん

九月三日、小さな親切運動実行本部(茅誠司会長)から奉仕活動を続けている三団体に表彰状が届き、同日市長室で伝達が行なわれました。

小さな親切運動の表彰を受けたのは、国立療養所阿久根病院の看護婦人会、市青年団連絡協議会、聖園老人ホームの職員会。

看護婦さんたちはこの五年間、同病院を退院し自宅療養中の患者さんらへ、非番を利用して訪問、食事や療養の方法について指導しています。また市青年団は市街地のフラーワーポットに花いっぱい運

動を展開しました。老人ホームは心こまやかな処遇が徹底されていることが評価されました。

感謝状を手渡した川畑市長は、「こんな市民の奉仕が市の発展につながります」と感謝の言葉を述べました。

同本部では、小さな親切実行者の推せんをお願いしています。誰でも次により推せんしてください

- 東京都千代田区三崎町二丁目二十番四号、小さな親切運動本部
- ハガキに実行者の住所、氏名、職業または学校、学年と実行の内容を具体的に記載ください。

市民のひろば

ロードミラー 掃除機を考案

交通指導員の梶尾さん

交通安全専門指導員の梶尾信義さんは、農業用の噴霧機など廃物を利用して、ロードミラーの手軽な掃除機を考案、九月十日開かれた交通安全対策会議で披露「これならお年寄りでも使える」と関係者はしきりに感心していました。

考案の動機は、先月、県下の交通安全専門指導員会が開かれたとき、老人クラブから「ロードミラーの掃除をしたいが、高くて手が届かず危険、なにかよい方法はな

いものか」という質問があったため、さっそくその日から作品に挑戦、苦心の末完成しました。

親に水をかける動力は噴霧機を使用。ホースを水通用品ニールパイプに結んで、高い所は掃きたくして自由に調整できる。先の噴射口の下には、タワシ、反対側にスポンジを巻いたタオルをつけ、ふきとります。

梶尾さんは九月十九日、市が購入した広報車に、この掃除機を積んで、「出勤」。「少しでも役に立てばうれしい。これで山間部の手の届かないミラーもきれいになるでしょう」と話していました。



掃除機を初公開する梶尾さん

社協だより

香典返しにかえて、次の方々から市社会福祉協議会に寄付がありました。

ありがとうございました。

落宗治(海) 神之田シツエ

(中屋敷) 波留貞雄(飛松)

川畑サチエ(川畑中) 浜崎栄高

(浜) 坂元サツキ(浜) 冨里

子(波留) 花田和雄(的場)

富古建雄(佐瀬) 西園豊士(高之口)

特志寄付

大和デパート

共同募金 運動始まる

十月一日(年末まで)

「赤い羽根」の国民たすけあい共同募金運動が、今年も十月一日から十二月三十一日まで、全国一斉に行われます。

この運動は、お互いの助け合い精神によって、わたしたちの手でめぐまれない人たちの生活の向上をはかるなど、福祉活動に必要な資金を集めるために発足したものであり、互助精神による地域社会の自発的活動として推進されています。

この運動は、区長さんや婦人会などの協力を得て、街頭募金、戸別

通算 22回目 陸上で連続優勝

阿久根市青年団

第二十八回鹿児島県青年大会は九月二日、県立鴨池運動公園や串木野市、川内市の各会場に約千三百人が参加、陸上、バレーボールなど九競技で熱戦を繰りひろげました。

阿久根市青年団は、全団員の半分にあたる七十人が参加、総合優勝。十二年連続、通算二十二回目の栄冠を手に入れました。

陸上の部、男子百メートルは倉津栄一君、同三種競技は坂上鉄夫君、女子三種競技は新井幸代さん、同走り高跳びは川原信代さんがそれぞれ優勝、男子スウェーデンリレー、女子四百メートルも制し、連続優勝に大きく貢献しました。

このほか、二位六人、三位二人の入賞者を出し、総合得点で二位を大きく引き離しました。

芸能の部では、桐野茂成君が、「私の選んだ職業とこれからの希望」と題して意見発表、会場の出席者に感銘を与えました。

そのほか、剣道団体の男女子一ム十二名で「良い成績が出せるようベストを尽くしてがんばります」と話していました。

軟式野球

太陽クラブ借敗

第二十三回高松宮杯軟式野球全国大会に出場した太陽クラブは、九日、東京の東芝府中球場で宮城県代表と対戦し、惜しくも二対一で敗れました。

米寿を祝い

湯呑み贈る

阿久根郵便局

九月十三日、阿久根郵便局は、簡易保険事業の一環として、八十八歳の米寿を迎えた市内のお年寄り十三人に湯呑みを贈りました。

この事業は毎年実施されているもので、市内赤瀬川中村の出口伝吉さん方には、坂西学局長らが訪れ、手渡しました。「お元気でなによりですね」と声をかけると、出口さんは「体はどことも悪くありません。ばつばつ農業をしているのが長生きの秘けつでしょうか」と元気に話されていました。

90歳以上を福祉センターに招待

市職員が踊りで長寿を祝福



「来年も元気で出席してください」とはげます川畑市長

敬老の日の九月十五日は、市内各地で敬老会が行われましたが、市では、九月十四日(金)九十歳以上のお年寄りを老人福祉センターに招待し長寿をお祝いしました。

今年九十歳以上のお年寄り六十七人のうち、十七人が出席され、楽しい一日を過ごされました。

招待敬老会に出席されたお年寄りたち一人一人に、川畑市長から敬老年金や記念品などが贈られ、お年寄りたちは「ありがたいことです」と喜んでいらっしやいました。

懇親会では、川畑市長、大田議員

長などが「ホステス役」に変身。「長生きして、来年も元気でおいでください」と一人一人に声をかけ、握手し、長寿を祝福しました。

また「おじいちゃん、おばあちゃんたちのために」と市職員九名が特別出演。

「安来節」や「串木野さのさ」とうなどの踊りを披露、お年寄りたちは「長生きしてよかった。来年も元気で参加できるのが楽しみです」と喜びを話してくださいました。

ました。

借主と同じ責任

—連帯保証人—

募金、職域募金、歳末たすけあい募金などの方法で実施されます。ご理解とご協力をお願いします。

しかし、軽い気持ちとは裏腹に保証人になるということは債権者に対して債務者と同じ責任を引き受けることになるのですから、慎重に考えたいものです。

連帯保証人は、借金や不動産の売買、貸借などの場合に依頼されるものです。

単なる保証人と連帯保証人では責任の重さが違ってきます。たとえば、借金の保証人になって、借主がお金を返せなくなった場合を考えてみましょう。

単なる保証人であれば、貸主から請求されても「先に借主の方へ請求してほしい」とあるいは「借主には財産があるから執行せよ」ということができます。

これに対して連帯保証人の場合は、借主と同じ責任が生じ、請求されたら支払いの義務が生じます。そこで、保証人を依頼されたら慎重に引受けるようにしましょう。

年金や社会保険の相談所開設

厚生年金、国民年金、健康保険などの社会保険相談所が十月十九日午前十時から午後三時まで、市役所大会議室で開かれます。

病氣などで退職後の治療や年金についてどうしたらよいかお困りの方、前に働いていた会社で年金を掛けていたかどうかわからない方、厚生年金の被保険者証を二枚以上お持ちの方、将来年金がもらえるかどうか不安に思っている方

お知らせ

母と子の会話

読書の秋

子供のころに、本を読む習慣をつけておくことは、これからの人生に大きなプラスになるでしょう。読書の習慣を身につけさせるには、まず、本を読むことの楽しさを味わわせることが第一です。

そのためには、子供が興味を持ち、読みたがっている本から与えていくのがよいでしょう。

しやる方、現在、年金制度に全然加入していない方、または、国民年金の保険料免除制度について知りたい方、そのほか年金などの手続き書類も用意してあり、川内社会保険事務所から専門家が来て相談を受けれます。ぜひこの機会をご利用ください。

市営住宅入居者を募集

市では市営住宅に空き家が多いため、入居者を補充するため、市営住宅の入居希望者を募集します。住宅に困っている方で、市営住宅への入居を希望される方は、十月三十一日までに、市都市計画課にお申し込みください。

各種手当等を改正

児童扶養手当、特別児童手当、福祉手当、児童手当が次のように改正されます。なお改正による手続きは不要です。

▽児童扶養手当(月額)

児童一人の場合

二一、五〇〇円が二六、〇〇〇円

児童二人の場合

二三、五〇〇円が二八、〇〇〇円

▽特別児童扶養手当(月額)

障害児一人につき

一六、五〇〇円が二〇、〇〇〇円

重度障害児一人につき

二四、八〇〇円が三〇、〇〇〇円

▽福祉手当(月額)

六、二五〇円が八、〇〇〇円

▽児童手当(月額) 市民税の所得割のない人。
六、〇〇〇円が六、五〇〇円に。

(注) 児童扶養手当、特別児童扶養手当、福祉手当は八月一日(五十四年受給分)から実施、児童手当は十月一日(五十五年受給分)から実施されます。

巡回交通事故相談所の開設

損害賠償の示談、自賠責の手続きなど交通事故についてお困りのことは何でもご相談ください。

▽とき 毎月第二木曜日

午前九時から午後四時まで

▽ところ 市民相談室

▽料金 無料

子供自身が、読んだあと満足感を味わえる本を選ぶ——これが、本に親しませる第一歩です。

子供と読書

まず……本を好きにさせること

あるでしようが、子供自身の興味を無視して、一方的に親の意向を強要すると、かえって本ざらになつてしまうこともありますので、気をつけたいものです。

子供の読書の特徴は、おとなの場合とちがって、本の主人公に容易に同化することです。主人公は必ずしも人間に限らず、動物や人形、空想上の生き物などさまざま

まず……本を好きにさせること

です。それらの主人公の喜びや悲しみは、そのまま子供の心の中に生きつき、読書の楽しさを知っていくようになります。

を聞いてあげると、子供は、自分の考え方や意見を話す機会ができて、読書の喜びが一層深いものになるでしょう。

読後感を話し合うときは、くれぐれも説教調にならないようにし、子供の興味と関心をまず尊重する立場にまわりましょう。

在宅医さん

在宅医の診療時間は午前九時から午後五時までです。急患のかた以外は、ご連絡ください。

十月二十一日

中村病院 ②0015 (大丸)

喜多医院 ②0038 (大丸)

平 医院 ②2626 (古里)

十月二十八日

堀切医院 ②0263 (高松)

林 病院 ③0836 (本町)

石原医院 ③0045 (鶴之東)

十一月三日

阿久根内科 ③0578 (新町)

田中医院 ③0553 (大丸)

新之上医院 ③2600 (馬場)

十一月四日

上園医院 ③1055 (本町)

北国医院 ③0016 (本町)

黒木医院 ③0200 (下村)

十一月十一日

中村病院 ③0015 (大丸)

喜多医院 ③0038 (大丸)

平 医院 ③2626 (古里)

市職員異動 (十月一日付)

▽農政課長補佐兼農政係長(総務課行政係長) 宇都松尚
▽総務課行政係長(都市計画課主査) 宇都松夫
▽都市計画課(市民課) 鳴川森一
▽市民課(保健衛生課) 石原長生